



グリップヒーター HG/SP 取り付けについて JJ2LD530G1/G2

適合車種：MAJESTY S (2BK-SG52J)

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



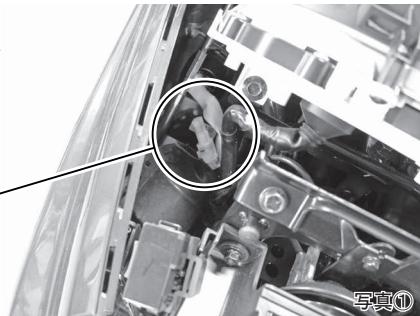
*パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

●接続する前に

車両のサービスマニュアルを参考にしてフロントカバーを取り外します。

アクセサリーカプラ（2P白）を確認しておきます。

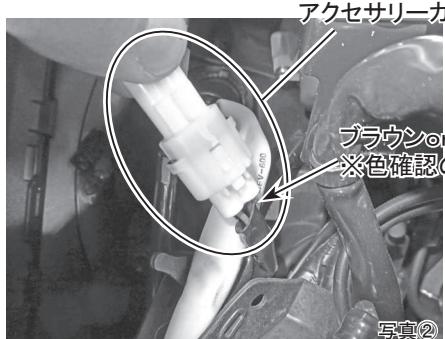
アクセサリカプラーは車体右側のゴムブーツ内に入っています。（写真①）



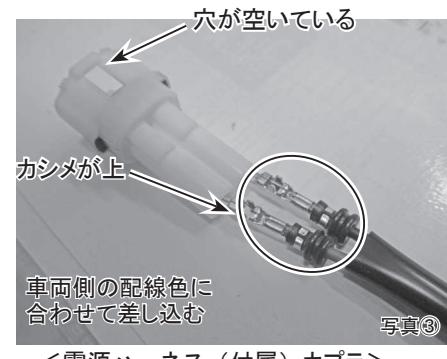
アクセサリーカプラー (2P白色)

*アクセサリーカプラーについて※

マジェスティS (SG52J) はアクセサリーカプラーの配線が車両によって異なっておりまます。そのため、ご自身の車両のアクセサリーカプラーの配線がどうなっているか確認してください。付属の電源ハーネスはカプラに配線が刺さっていない状態なので、車両側の配線に合わせて、電源ハーネスの端子をカプラに差し込んでから、ご使用ください。（写真②、③）



<車両側カプラ>



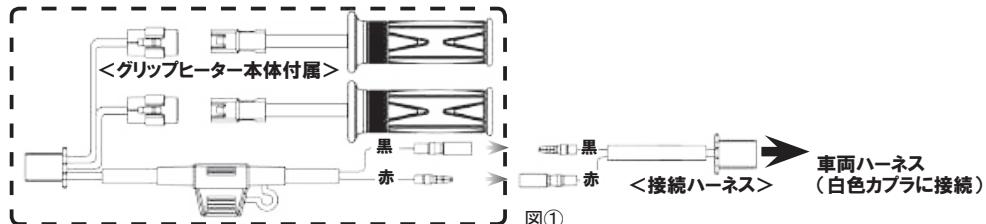
<電源ハーネス (付属) カプラ>

*端子の接続方法について※

付属の電源ハーネスは車両のアクセサリーカプラーの配線色が**黒色**に対して、**黒色**を接続、**ブラウン**に対して**赤色**を接続するように端子をカプラーに差し込みます。（写真③）
差し込む際には奥まできちんと差し込み、カチッと音がなるまで差し込んでください。
また、端子の差し込む向きは写真③のようにカプラーが穴が空いている側と端子をカシメている側が同じ向きで端子を差し込んでください。

①配線の接続について（図①）

グリップヒーター側ハーネスのギボンと接続ハーネスのギボンをそれぞれ接続します。
このとき、左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。
問題が無ければ、一度、グリップとスイッチは外します。



②純正グリップの取り外し

左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着しているボンドをペーツクリーナーなどできれいに取り除きます。

③スイッチ部の取り付け

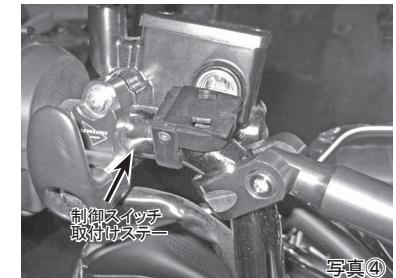
<HGの場合>

付属のステーをハンドルパイプに固定します。（写真④）
→このとき、ボタン操作の邪魔にならない位置にクランプしてください。

両面テープで制御スイッチを固定します。

<SPの場合>

グリップヒーターを取り付ける前に、リングタイプスイッチをハンドルパイプの左側グリップ部に差し込んで固定します。
→このとき、車両の操作の邪魔にならない位置に固定してください。



写真④

●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に**1分以上**は暖めないでください。（特に右側）。

内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

*右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

*必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離した状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

④左右グリップの取り付け（参考例）

<SPの場合>

グリップヒーター本体の説明書を参考に、スペーサーを先に入れてからグリップを取り付けしてください。

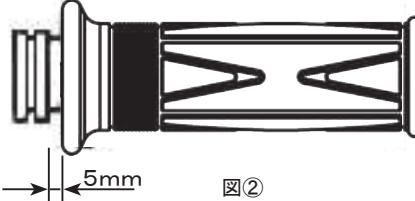
<以下、HG、SP共通>

グリップヒーターの配線位置を間違えないようにグリップヒーターを差し込みます。このとき、グリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。また、右グリップは図②のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。

▲注意

左右のグリップ共にグリップから出ている配線の位置を確認してから取り付けしてください。また、右側はスロットルを回した時に配線には絶対負荷がかからないようにしてください。グリップから配線が出ている部分は弱く、断線して破損してしまう恐れがあります。

«右グリップ»



⑤配線のまとめ

それぞれの取り付けが終わったら、右グリップの配線はスロットルケーブルに沿うように左グリップとスイッチの配線はリアブレーキレバーの下側を通してハーネスのカプラーに接続します。

(写真⑤、⑥)

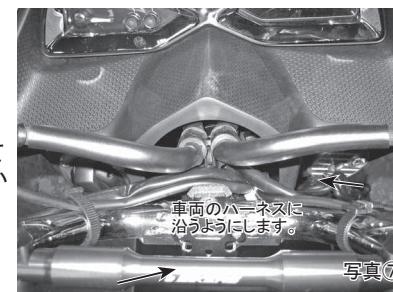
→配線はハンドルカバーを取り外して、車両ハーネスに沿うように内側に入れてからグリップヒーターハーネスのカプラーに接続します。

(写真⑦)

また、配線の長さが余ってしまっている部分はタイラップなどでまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かしてハーネスに力がかかるってないか、ハンドル操作、レバーの操作の邪魔にならないか、スロットル操作の邪魔になっていないかどうか確認します。

確認が終わったら、カウルを元に戻します。



⑥取り付け完了

右側バーエンドとのグリップエンドのクリアランスが無い場合には、付属のワッシャーを入れてバーエンドが外側に行くようにしてから固定してください。その後、取り外した部品を元に戻して動作確認をします。問題なく温まつたら、カウルを元に戻して取り付け完了です。

●構成部品●

- 専用スロットルパイプ・・・1個
- 専用ハーネス（カプラ未装着）・・・1本
- カプラ単体・・・1個
- バーエンドワッシャー・・・1枚
- 取扱説明書

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
endurance-parts.com

2020.11.20